

書 評

みるトレ 感染症

笠原 敬，忽那賢志，佐田竜一(著)

諏訪中央病院内科総合診療部

山中克郎

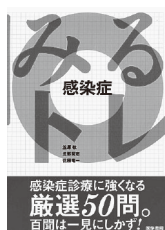
名医に仕上げる特効薬

誰もが診断に苦慮しているときに、「視診」だけから特徴的な所見を見抜き、鮮やかに一発診断する医師がいる。私はこんな“かつこいい”医師に憧れる。

本書はそんな「視診」力を鍛える本であり、「名医に仕上げる特効薬」と呼ぶべき本である。『みるトレ』は毎月「総合診療(旧：JIM)」に連載されているシリーズなので、これを楽しみに購読を続けている読者もきっと多いだろう。症例はクイズ形式となっていて、提示された症状や身体所見、CT画像から「キーワード」を見抜き診断推論を展開しなければならない。キーワードを嗅ぎ分ける医師ということは、問題点を見抜く力を持っている医師ということでもある。解答を見て「そうか、そうだったのか」と納得する。

コラムが本書全体に品格を与え読み手の心をわ

しづかみにする。平たく言えば、ぐつとくる。忽那賢志先生が New England Journal of Medicine (NEJM) に症例報告をした際の苦労やコツが語られていて、一流医学雑誌への投稿意欲をかき立てられる。佐田竜一先生の clinical picture 撮影時の情報管理を含めたアドバイスも秀逸である。笠原敬先生の豊富な臨床経験と文献的な考察に基づいた深い考察も素晴らしい。頑張っているあの後輩にプレゼントしたい。そんな素敵な本である。



●B5/頁200/2015 年
定価：本体 3,800 円＋税
[ISBN978-4-260-02133-3]
医学書院 刊